

高島町役場 企画課 企画調整係
係長 南波幸子氏



高島町における二地域居住推進とデュアルスクール事業

1. 町の現状

- ・町の R7 年度予算：一般会計 131.5 億円 特別会計 61.2 億円 企業会計 48.4 億円
- ・町職員数：一般職員 216 人（再任用 14 人含む）病院職員 183 人（再任用 4 人含む）
- ・中学校児童生徒数：小学生 984 人 中学生 581 人 就学前児童 653 人（R7.4.1 現在）

小学校	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
高島小	45	39	46	50	46	51	277
二井宿小	2	2	1	6	1	5	17
屋代小	26	31	34	38	33	41	203
亀岡小	15	7	7	10	16	15	70
和田小	21	16	19	18	27	19	120
糠野目小	35	58	42	57	50	55	297
計	144	153	149	179	173	186	984

中学校	1年	2年	3年	計
高島中学校	188	210	183	581

○小学校：二井宿小は全学年で複式学級、亀岡小学校は 3.4 年生が複式学級、和田小は全学年各 1 クラス

○中学校：H28.4 高島中開校時の生徒数は 679 人

地区	就学前児童数（0歳～5歳の計）
高島	198
二井宿	13
屋代	119
亀岡	47
和田	50
糠野目	226
合計	653

○R7 年度の就学前児童が全員小学生となる 6 年後の令和 13 年度と令和 7 年度の児童数の比較

高島小△79 人 二井宿小△4 人

屋代小△84 人 亀岡小△23 人

和田小△70 人 糠野目小△71 人

2. 課題

①経営者高齢化後継者不足、他分野連携の不足、②若者流出と出生数減少、③核家族化による子育ての孤立化

3. 課題解決のために

①次世代リーダー育成事業、②大学連携や交流による教育の魅力化、③地域全体での子育て支援機運の醸成の事業を国のデジタル田園都市国家構想交付金の事業採択を受けて実施。

4. デュアルスクール事業（R4～R6 実施）

対応策②の一環として実施。都市と地方の学校を往来できる新しい学びの仕組み。町では転校手続き不要な「体験入学型」で実施。R4 年度仕組み構築、R5 年度実証受入（1 家族 3 人）、R6 年度本格受入（6 家族 18 人）。参加家庭からは「自己肯定感の向上」「第二のふるさと感覚」、地域からも「交流による賑わい」の声。

5. デュアルスクール事業を実施した課題と展望

R6 年度まで実施した中で、デュアルスクール参加者が町への移住を検討する際の雇用や住居確保の課題、受入に際した調整の煩雑さ、事業実施に当たっての財源や人材不足が課題があったが、デュアルスクール事業は、町内の子ども達にとっても移住定住施策としても良い事業であることから、「多様な主体の参画による二拠点居住の魅力創出事業」として第 2 世代交付金事業申請し採択を受け、R7 年度も実施。

6. 二地域居住推進宣言

町への移住定住は、約 50 年前の有機農業に憧れた若者たちの移住がきっかけであり、よそ者を受け入れる土壌が形成されていた。その後、首都圏大学等との連携、熱中小学校 PJ、デュアルスクール受入れ等の事業により、子どもから大人まであらゆる世代の学びを受け入れる環境が整えられた。その結果、全国唯一の「0 歳～22 歳」まで受入可能な多地域就学対応エリアとなり、この強みを活かした事業をさらに展開していくため、国交省の「先導的多地域就学可能区域化事業」採択を受け、特定居住促進計画の策定等を実施中。

あらゆる世代での学びの受け入れによる交流人口の増加、移住定住者の増加を目指し、本年 5 月、高島町長が「二地域居住推進」を宣言。人口減少という現実を受け止め、都市や近隣市町と限られた人口を取り合うのではなく、関係人口、二地域居住者を増やすことで、町の賑わいを創出できるよう、取組みを進めていく。

《出席報告》

会員数 47 名 出席者数 17 名 出席率 36.17 %
前回修正 47 名 出席者数 30 名 出席率 63.83 %

《メイクアップ》

青木道春 君・加藤由香里 君・高梨正章 君・福島 悟 君
若林智次 君



今回の例会 [2753 th] 2025.10.16

小平法律事務所
弁護士 小平陽介氏

Rotary Rotary International District 2800
2025-2026 TAKAHATA ROTARY CLUB

WEEKLY REPORT

会長 庄司 薫 幹事 高橋 宏之 例会 毎週木曜 12:30～13:30 旅館 エビスヤ 事務局 山形県高島町高島 911-2-2F tel 0238-52-5440・fax 52-5444

本日の例会 [2752 th] 2025.10.4

移動例会
ロータリー奉仕デー
芋煮会
●会場：旧高島駅公園

前回の例会 [2751 th] 2025.9.25

高島町役場 企画課 企画調整係

係長 南波幸子氏

・点鐘 12 時 30 分 庄司 薫 会長
・県民歌 最上川
・ロータリーの目的唱和 井田和史君
・ソングリーダー 木村健彦君
・S A A 島崎裕司君

会長あいさつ

庄司 薫 会長

みなさん こんにちは。

本日のゲストをご紹介します。高島町役場 企画課 企画調整係長の南波幸子さんです。後ほどご講話をお願いいたします。

最初に皆さんに嬉しいお知らせがございます。

事務局の渡部綾華さんが 9 月 23 日に無事に女の子を出産されました。母子共に健康とお父様の鈴木さんからお聞きしました。

3 月までの産休・育休ですがそれまで鈴木さんにお手伝い頂きますのでよろしくお願いいたします。

高島町では、普通に学校に籍を置きながら別の学校に通える「ディアルスクール」を 2020 年からとり入れています。この制度を利用して「さいたま市」から小学生の兄弟が二井宿小学校に、去年に引き続き親御さんと二回目の滞在をしているそうです。

里山体験や地域の歴史の学習を通して高島を体験するのですが今回リピーターは初めてという事です。高島の魅力が伝わりまた行ってみたいと思っていただけたんだなあと思いました。

弊社にも東京から、一週間 20 歳の女子が高島での暮らしを体験したいということで「地域留学生」として個人的に受け入れました。一週間仕事をしながら高島を満喫して帰られましたが「東京では正直引きこもりの時期もあったのですが、ここに来て感じたのは素晴らしい自然

のもと資源を生かした取り組みや仕事、そして高島の人たちのコミュニケーション力の高さを感じました」と言ってまた来たいと元気に帰って行きました。

高島の魅力は住んでいる人たちにとっては当たり前と思うところが、外から来た方々には魅力的に感じるんですね。そんな高島の PR をしながら魅力を磨く努力も必要だなと感じました。

《幹事報告》

高橋 宏之 幹事

- ① 地区大会の参加締切が 9/29 日までにになっています、多くの皆様の出席をお願いいたします。
- ② 樹氷を守るチャリティー募金が 9 月末締め切りの為本日の例会が最後の募金日です。
- ③ 「ロータリー財団」「米山記念奨学会」寄付が 10/3 日締切です。個別に寄付される方は事務局にご連絡下さい。
- ④ 10 月の例会は、2 日・9 日・30 日が休会です。ご注意ください。

《委員会報告》

●親睦活動委員会
後藤 隆暢 副委員長

ロータリー奉仕デー・芋煮会のご案内

●日時：10 月 4 日（土）15：00～

●会場：旧高島駅公園

ご返事の未だの方は是非ご出席をお願い致します。

スマイルBOX

・車の販売・整備等で皆様にお世話になっております。これからも宜しくお願い致します。

山村 義美 君

・9/28 ビートルズの弾き語りリッキーライブがあります。是非お越しください。

青木 清子 君

・山村会員より「ジムニーノマド」を納車頂きました。ありがとうございます。

高橋 宏之 君

・渡部綾華さん。女の子のご出産おめでとうございました。

庄司 薫 君

・高島クラブを代表して、金子前会長・高橋親睦委員長・皆川会員とチャリティーコンペに参加してきました。結果を期待してます。

加藤由香里 君